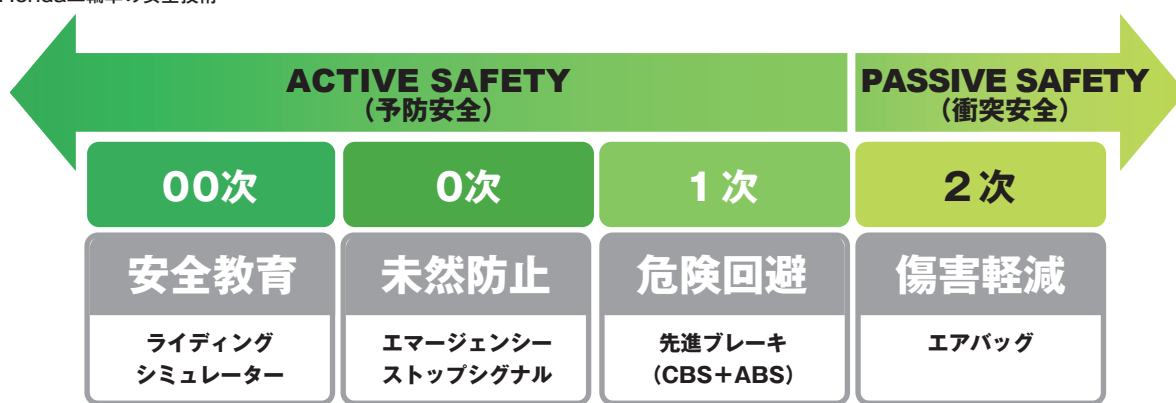


Hondaは、共存安全思想のもと、二輪、四輪のみならず、道路を使う誰もが安全でいられる「事故に遭わない社会」の実現を目指しています。そして「ヒト(安全運転教育)」「テクノロジー(安全技術)」「コミュニケーション(安全情報)」の三領域の活動を相互に連携させながら、各国の交通環境や地域の実情に応じて効果的に展開しています。

二輪車では、安全教育、未然防止、危険回避、傷害軽減それぞれの領域で安全性向上の研究・開発を続けています。この内、新しいゴールドウイングのエマージェンシーストップシグナルは未然防止領域に、ブレーキシステム(別項)は危険回避領域に、エアバッグは傷害軽減領域にそれぞれ該当する技術です。

■Honda二輪車の安全技術



●エマージェンシーストップシグナル

新しいゴールドウイングでは、急ブレーキをいち早く後続車に伝える機能であるエマージェンシーストップシグナルを装備する事で、お客様の安心感に寄与します。

従来のウインカーリレーにCAN通信機能を持たせたフロントコントロールユニットが、50km/h以上で走行している時の急ブレーキを判定し、ハザードランプを高速点滅することで後続車などに注意を促します。

■エマージェンシーストップシグナル作動イメージ図

